

第5回 産研ざっくばらん トーク

主催：大阪大学産業科学研究協会（産研協会）
共催：大阪大学産業科学研究所（産研）

ウイルス診断の 新手法を目指して

◆産研ざっくばらんトークへのお誘い

産研ざっくばらんトークは、産研の教員が研究内容を分かり易く紹介することを通じて、研究や技術についての理解を深めるとともに、懇親会を通じて交流を深めていただく勉強会です。ご興味をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

◆ざっくばらんトークの進め方

<第1部> 開発邦宏先生による話題提供

人間は生活をしていく上で、さまざまな感染症にかかります。それらの大半は、軽度なものと言えますが、軽い風邪のようなものから、時に命を取られかねないものまでさまざまです。そのような多種多様な感染症を診断するために日々、様々なウイルス診断技術が生み出され、使われています。

そのような感染症診断は、薬という点からみるとがんを凌ぐ巨大な市場規模を持ち、その社会的ニーズも大きいと言えます。また、世界を見ても新たな感染症の脅威は増える一方であり、日本でも2014年に69年ぶりのデング熱国内感染者が確認されています。このため、誰でも、手軽に、早期に診断ができる技術の開発と普及が求められます。ですが、このようなPOC (Point-of-Care: 臨床現場すぐに見える) 検査キットには、現在もウイルス診断の手法にさまざまな課題があります。

このような課題を打開するため、開発先生は**新規の核酸型クロマトを開発し、ウイルス診断の新しい方法を構築しました。**この方法を使うと、**その場で、迅速に、検体液を滴下するだけで短時間で診断**することができるようになります。さらに、従来の方法よりも検査コストを下げることに繋がり、途上国などを中心に広がる感染重症化リスク管理にも役立つことが期待されます。このような、ウイルス診断の新たな展望について、自由な雰囲気の中で皆さんに理解をしていただければと思います。

<第2部> 交流会

質疑応答や意見交換を含めたざっくばらんな議論を行います。

<司会：加藤久明（大阪大学産業科学研究所特任助教）>

15:30-15:35 趣旨説明

15:35-16:40 第1部 話題提供：「ウイルス診断の新手法を目指して」

話題提供者：開発邦宏先生（大阪大学産業科学研究所特任准教授）

16:40-16:50 休憩（&交流会準備）

16:50-18:00 第2部 交流会：討論のまとめ各種質疑に対する応答

- ◆開催日時：2016年10月17日（月） 15:30～18:00
- ◆開催会場：大阪富国生命ビル テラプロジェクト・まちラボ F区画
〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2番4号 富国生命ビル4F
- ◆参加費：(1) 産研協会会員（参加費無料＋交流会費2,000円）
(2) 一般参加者（参加費3,000円＋交流会費2,000円）
- ◆申し込み先：産研協会（一般財団法人大阪大学産業科学研究協会）
TEL&FAX: 06-6948-6902 E-mail: RAIS@sanken.osaka-u.ac.jp
- ◆問い合わせ先：コーディネーター 加藤久明（大阪大学産業科学研究所 特任助教）
E-mail: hisaaki@sanken.osaka-u.ac.jp